

(様式第 10)

国がん発 第 323 号
平成 26 年 10 月 2 日

厚生労働大臣

殿

独立行政法人国立がん研究センター
理事長 堀田 知光

独立行政法人国立がん研究センター中央病院の業務に関する報告について

標記について、医療法（昭和 23 年法律第 205 号）第 12 条の 3 第の規定に基づき、平成 26 年度の業務に関して報告します。

記

1 開設者の住所及び氏名

住 所	〒104-0045 東京都中央区築地 5-1-1
氏 名	理事長 堀田 知光

(注) 開設者が法人である場合は、「住所」欄には法人の主たる事務所の所在地を、「氏名」欄には法人の名称を記入すること。

2 名 称

独立行政法人国立がん研究センター中央病院

3 所在の場所

〒104-0045 東京都中央区築地 5-1-1	電話(03) 3542-2511 (代表)
--------------------------	-----------------------

4 診療科名

4-1 標榜する診療科名の区分

1 医療法施行規則第六条の四第一項の規定に基づき、十六診療科名すべてを標榜
② 医療法施行規則第六条の四第四項の規定に基づき、がん、循環器疾患等の疾患に関し、高度かつ専門的な医療を提供する特定機能病院として、十以上の診療科名を標榜

(注) 上記のいずれかを選択し、番号に○印を付けること。

4-2 標榜している診療科名

(1) 内科

内科	(有) ・ 無
内科と組み合わせた診療科名等	
1 呼吸器内科 2 循環器内科 3 消化器内科 4 血液内科 5 緩和ケア内科	
6 7 8 9 10 11 12 13 14	
診療実績	

(注) 1 「内科」欄及び「内科と組み合わせた診療科名等」欄については、標榜している診療科名について記入すること。

(注) 2 「リウマチ科」及び「アレルギー科」についても、「内科と組み合わせた診療科等」欄に記入すること。

(注) 3 「診療実績」欄については、医療法施行規則第六条の四第三項の規定により、他の診療科で医療を提供している場合に記入すること。

(2) 外科

外科															有	・	(無)
外科と組み合わせた診療科名																	
1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14				
診療実績																	

(注) 1 「外科」欄及び「外科と組み合わせた診療科名」欄については、標榜している診療科名について記入すること。

(注) 2 「診療実績」欄については、医療法施行規則第六条の四第三項の規定により、他の診療科で医療を提供している場合に記入すること。

(3) その他の標榜していることが求められる診療科名

①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬	⑭	⑮	⑯
精神科	小児科	整形外科	脳神経外科	皮膚科	泌尿器科	産婦人科	産科	婦人科	眼科	耳鼻咽喉科	放射線科	放射線診断科	放射線治療科	麻酔科	救急科

(注) 標榜している診療科名の番号に○印を付けること。

(4) 歯科

歯科															(有)	・	無
歯科と組み合わせた診療科名																	
1	2	3	4	5	6	7											
歯科の診療体制																	

(注) 1 「歯科」欄及び「歯科と組み合わせた診療科名」欄については、標榜している診療科名について記入すること。

(注) 2 「歯科の診療体制」欄については、医療法施行規則第六条の四第五項の規定により、標榜している診療科名として「歯科」を含まない病院については記入すること。

(5) (1)～(4)以外でその他に標榜している診療科名

1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21
---	---	---	---	---	---	---	---	---	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----

(注) 標榜している診療科名について記入すること。

5 病床数

精神	感染症	結核	療養	一般	合計
床	床	床	床	600床	600床

6 医師、歯科医師、薬剤師、看護師及び准看護師、管理栄養士その他の従業者の員数

(平成 26 年 10 月 1 日現在)

職 種	常 勤	非常勤	合 計	職 種	員 数	職 種	員 数
医 師	158人	104.5人	262.5人	看護補助者	2.8人	診療エックス線技師	0人
歯科医師	1人	0人	1人	理学療法士	2.0人	臨床検査技師	60.0人
薬 剤 師	38人	12.3人	50.3人	作業療法士	1.0人	衛生検査技師	0人
保 健 師	0人	0人	0人	視能訓練士	0.8人	その他	0人
助産師	0人	0人	0人	義肢装具士	0人	あん摩マッサージ指圧師	0人
看護師	519人	5.7人	524.7人	臨床工学技士	5.0人	医療社会事業従事者	10.6人
准看護師	0人	0人	0人	栄 養 士	0人	その他の技術員	17.2人
歯科衛生士	2人	0人	2人	歯科技工士	0人	事務職員	107.4人
管理栄養士	6人	1.5人	7.5人	診療放射線技師	60.1人	その他の職員	70.9人

- (注) 1 申請前半年以内のある月の初めの日における員数を記入すること。
 2 栄養士の員数には、管理栄養士の員数は含めないで記入すること。
 3 「合計」欄には、非常勤の者を当該病院の常勤の従事者の通常の勤務時間により常勤換算した員数と常勤の者の員数の合計を小数点以下2位を切り捨て、小数点以下1位まで算出して記入すること。それ以外の欄には、それぞれの員数の単純合計員数を記入すること。

7 専門の医師数

(平成 26 年 10 月 1 日現在)

専門医名	人 数	専門医名	人 数
総合内科専門医	16人	眼科専門医	1人
外科専門医	26人	耳鼻咽喉科専門医	3人
精神科専門医	4人	放射線科専門医	18人
小児科専門医	2人	脳神経外科専門医	4人
皮膚科専門医	3人	整形外科専門医	4人
泌尿器科専門医	4人	麻酔科専門医	5人
産婦人科専門医	3人	救急科専門医	人
		合 計	93人

- (注) 人数には、非常勤の者を当該病院の常勤の従事者の通常の勤務時間により常勤換算した員数と常勤の者の員数の合計を小数点以下1位を切り捨て、整数で算出して記入すること。

8 前年度の平均の入院患者、外来患者及び調剤の数

歯科、矯正歯科、小児歯科及び歯科口腔外科の前年度の平均の入院患者及び外来患者の数

	歯科等以外	歯科等	合 計
1日当たり平均入院患者数	503.3人	0人	503.3人
1日当たり平均外来患者数	1130人	13.9人	1144人
1日当たり平均調剤数	入院：589.4 剤 外来：236.8 剤		
必要医師数	120人		
必要歯科医師数	0人		
必要薬剤師数	17人		
必要(准)看護師数	291人		

- (注) 1 「歯科等」欄には、歯科、矯正歯科、小児歯科及び歯科口腔外科を受診した患者数を、「歯科等以外」欄にはそれ以外の診療料を受診した患者数を記入すること。
 2 入院患者数は、年間の各科別の入院患者延数(毎日の24時現在の在院患者数の合計)を暦日で除した数を記入すること。

- 3 外来患者数は、年間の各科別の外来患者延数をそれぞれ病院の年間の実外来診療日数で除した数を記入すること。
- 4 調剤数は、年間の入院及び外来別の調剤延数をそれぞれ暦日及び実外来診療日数で除した数を記入すること。
- 5 必要医師数、必要歯科医師数、必要薬剤師数及び必要（准）看護師数については、医療法施行規則第二十二條の二の算定式に基づき算出すること。

9 施設の構造設備

施設名	床面積	主要構造	設 備 概 要			
集中治療室	216.7 m ²	鉄骨構造	病床数	8床	心電計	(有)・無
			人工呼吸装置	(有)・無	心細動除去装置	(有)・無
			その他の救急蘇生装置	(有)・無	ペースメーカー	(有)・無
無菌病室等	[固定式の場合] 床面積 472.42m ² [移動式の場合] 台数 台		病床数	39床		
医薬品情報管理室	[専用室の場合] 床積 55.46 m ² [共用室の場合] 共用する室名					
化学検査室	662.94m ²	鉄骨構造	多項目自動血球分析装置、血液凝固測定装置、全自動免疫化学分析測定装置、全自動化学発光測定装置、生化学用自動分析装置、全自動薬物濃度測定装置、尿自動分析装置			
細菌検査室	161.04m ²	鉄骨構造	同定・薬剤感受性パネル自動測定装置、血液培養自動分析装置			
病理検査室	490.59m ²	鉄骨構造	自動染色装置、自動免疫染色装置、凍結切片作製装置、自動封入装置、密閉式自動固定包埋装置、対面作業用下降流プッシュプル型換気装置			
病理解剖室	142.15m ²	鉄骨構造	ホルマリン作製装置			
研究室	24,213.909m ²	鉄骨鉄筋コンクリート等	研究所棟、疫病ヒトゲノムセンター棟、中央病院内がん対策情報センター部室			
講義室	742.52m ²	鉄骨構造等	室数	25 室	収容定員	10～20人
図書室	376.64m ²	鉄筋コンクリート	室数	1 室	蔵書数	9万冊程度

(注) 1 主要構造には、鉄筋コンクリート、簡易耐火、木造等の別を記入すること。

2 主な設備は、主たる医療機器、研究用機器、教育用機器を記入すること。

10 紹介率及び逆紹介率の前年度の平均値

算定期間		平成26年4月1日～平成26年8月31日	
紹介率	103 %	逆紹介率	66 %
算出根拠 A: 紹介患者の数			3,268 人
B: 他の病院又は診療所に紹介した患者の数			2,202 人
C: 救急用自動車によって搬入された患者の数			168 人
D: 初診の患者の数			3,334 人

(注) 1 「紹介率」欄は、A、Cの和をDで除した数に100を乗じて小数点以下第1位まで記入すること。

2 「逆紹介率」欄は、BをDで除した数に100を乗じて小数点以下第1位まで記入すること。

3 A、B、C、Dは、それぞれの前年度の延数を記入すること。

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

1 承認を受けている先進医療の種類(注1)及び取扱患者数

先進医療の種類	取扱患者数
網膜芽細胞腫の遺伝子診断	5人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人

(注) 1 「先進医療の種類」欄には、厚生労働大臣の定める先進医療及び施設基準(平成二十年厚生労働省告示 第百二十九号)第二各号に掲げる先進医療について記入すること。

(注) 2 「取扱患者数」欄には、前年度の年間実患者数を記入すること。

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

2 承認を受けている先進医療の種類(注1)及び取扱患者数

先進医療の種類	取扱患者数
経皮的乳がんラジオ波焼灼療法 早期乳がん	25人
術後のホルモン療法及びS-1内服投与の併用療法 原発性乳がん(エストロゲン受容体が陽性であって、HER2が陰性のものに限る。	35人
パクリタキセル静脈内投与、カルボプラチン静脈内投与及びベバシズマブ静脈内投与の併用療法(これらを三週間に一回投与するものに限る。)並びにベバシズマブ静脈内投与(三週間に一回投与するものに限る。)による維持療法 再発卵巣がん、卵管がん又は原発性腹膜がん	1人
インターフェロンα皮下投与及びジドブジン経口投与の併用療法	1人
放射線照射前に大量メトレキサート療法を行った後のテモゾロミド内服投与及び放射線治療併用療法並びにテモゾロミド内服投与の維持療法	0人
H25年度内に症例数を満たして終了した試験	
神経症状を呈する脳放射線壊死に対する核医学診断及びベバシズマブ静脈内投与療法 神経症状を呈する脳放射線壊死(脳腫瘍又は隣接する組織の腫瘍に対する放射線治療後のものに限る)	0人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人

(注) 1 「先進医療の種類」欄には、厚生労働大臣の定める先進医療及び施設基準(平成二十年厚生労働省告示第百二十九号)第三各号に掲げる先進医療について記入すること。

(注) 2 「取扱患者数」欄には、前年度の年間実患者数を記入すること。

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

3 その他の高度の医療

医療技術名	取扱患者数	人
当該医療技術の概要 特になし		
医療技術名	取扱患者数	人
当該医療技術の概要		
医療技術名	取扱患者数	人
当該医療技術の概要		
医療技術名	取扱患者数	人
当該医療技術の概要		
医療技術名	取扱患者数	人
当該医療技術の概要		
医療技術名	取扱患者数	人
当該医療技術の概要		
医療技術名	取扱患者数	人
当該医療技術の概要		
医療技術名	取扱患者数	人
当該医療技術の概要		
医療技術名	取扱患者数	人
当該医療技術の概要		

(注) 1 当該医療機関において高度の医療と判断するものが他にあれば、前年度の実績を記入すること。

(注) 2 医療法施行規則第六条の四第四項の規定に基づき、がん、循環器疾患等の疾患に関し、高度かつ専門的な医療を提供する特定機能病院として十以上の診療科名を標榜する病院については、他の医療機関での実施状況を含め、当該医療技術が極めて先駆的であることについて記入すること(当該医療が先進医療の場合についても記入すること)。

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

4 特定疾患治療研究事業対象疾患についての診療

疾 患 名	取扱患者数	疾 患 名	取扱患者数
・ベーチェット病	3人	・膿疱性乾癬	人
・多発性硬化症	人	・広範脊柱管狭窄症	人
・重症筋無力症	6人	・原発性胆汁性肝硬変	8人
・全身性エリテマトーデス	3人	・重症急性膵炎	1人
・スモン	人	・特発性大腿骨頭壊死症	人
・再生不良性貧血	11人	・混合性結合組織病	人
・サルコイドーシス	24人	・原発性免疫不全症候群	人
・筋萎縮性側索硬化症	人	・特発性間質性肺炎	人
・強皮症, 皮膚筋炎及び多発性筋炎	13人	・網膜色素変性症	1人
・特発性血小板減少性紫斑病	24人	・プリオン病	人
・結節性動脈周囲炎	1人	・肺動脈性肺高血圧症	人
・潰瘍性大腸炎	28人	・神経線維腫症	7人
・大動脈炎症候群	人	・亜急性硬化性全脳炎	人
・ピュルジャー病	人	・バッド・キアリ(Budd-Chiari)症候群	人
・天疱瘡	3人	・慢性血栓塞栓性肺高血圧症	人
・脊髄小脳変性症	1人	・ライゾーム病	人
・クローン病	1人	・副腎白質ジストロフィー	人
・難治性の肝炎のうち劇症肝炎	人	・家族性高コレステロール血症(ホモ接合体)	人
・悪性関節リウマチ	人	・脊髄性筋委縮症	人
・パーキンソン病関連疾患(進行性核上性麻痺、 大脳皮質基底核変性症及びパーキンソン病)	8人	・球脊髄性筋委縮症	人
・アミロイドーシス	4人	・慢性炎症性脱髄性多発神経炎	人
・後縦靭帯骨化症	7人	・肥大型心筋症	7人
・ハンチントン病	人	・拘束型心筋症	人
・モヤモヤ病(ウイリス動脈輪閉塞症)	2人	・ミトコンドリア病	人
・ウェゲナー肉芽腫症	人	・リンパ脈管筋腫症(LAM)	人
・特発性拡張型(うっ血型)心筋症	人	・重症多形滲出性紅斑(急性期)	人
・多系統萎縮症(線条体黒質変性症、オリブ橋 小脳萎縮症及びシャイ・ドレーガー症候群)	人	・黄色靭帯骨化症	人
・表皮水疱症(接合部型及び栄養障害型)	人	・間脳下垂体機能障害 (PRL分泌異常症、ゴナドトロピン分泌異常症、AD H分泌異常症、下垂体性TSH分泌異常症、クッシング 病、先端巨大症、下垂体機能低下症)	9人

(注) 「取扱患者数」欄には、前年度の年間実患者数を記入すること。

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

6 届出が受理されている診療報酬制度における施設基準等(特掲診療科)

施設基準の種類	施設基準の種類
・がん性疼痛緩和指導管理料	・がん患者リハビリテーション料
・がん患者指導料1・2・3	・皮膚悪性腫瘍切除術 (悪性黒色腫センチネルリンパ節加算を算定するもの限)
・外来緩和ケア管理料	・組織拡張器による再建手術(一連につき)(乳房(再建手術)の場合に限)
・移植後患者指導管理料	・ゲル充填人口乳房を用いた乳房再建術(乳房切除後)
・外来リハビリテーション診療料	・乳がんセンチネルリンパ節加算1・2
・外来放射線照射診療料	・腹腔鏡下肝切除術
・ニコチン依存症管理料	・腹腔鏡下膵体尾部腫瘍切除術
・がん治療連携計画策定料	・早期悪性腫瘍大腸粘膜下層剥離術
・がん治療連携管理料	・腎腫瘍凝固・焼灼術(冷凍凝固によるもの)
・薬剤管理指導料	・人工尿道括約筋植込・置換術
・医療機器安全管理料1・2	・医科点数表第2章第10部手術の通則5及び6 (歯科点数表第2章第9部の通則4を含む。)に掲げる手術
・造血器腫瘍遺伝子検査	・輸血管理料Ⅰ、輸血適正使用加算
・検体検査管理加算(Ⅰ)・(Ⅳ)	・貯血式自己血輸血管理体制加算
・遺伝カウンセリング加算	・人工肛門・人工膀胱増設術前処置加算
・内服・点滴誘発試験	・内視鏡手術用支援機器加算
・センチネルリンパ節生検検査(乳がんに係るもの限)	・麻酔管理料(Ⅰ)(Ⅱ)
・CT透視下気管支鏡検査加算	・放射線治療専任加算
・画像診断管理加算1・2	・外来放射線治療加算
・ポジトロン断層撮影又はポジトロン断層・コンピュータ断層複合撮影	・高エネルギー放射線治療
・CT撮影及びMRI撮影	・一回線量増加加算
・大腸CT撮影加算	・強度変調放射線治療(IMRT)
・抗悪性腫瘍剤処方管理加算	・画像誘導放射線治療(IGRT)
・外来化学療法加算1	・体外照射呼吸性移動対策加算
・無菌製剤処理料	・定位放射線治療
・疾患別リハビリテーション料__脳血管疾患等(Ⅱ)	・定位放射線治療呼吸移動対策加算
・疾患別リハビリテーション料__運動器(Ⅱ)	・保険医療機関間の連携による病理診断

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

6 届出が受理されている診療報酬制度における施設基準等(特掲診療科)

施設基準の種類	施設基準の種類
・病理診断管理加算	・
・クラウン・ブリッジ維持管理料	・
・歯科口腔リハビリテーション料2	・
	・
	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

7 健康保険法の規定による療養に要する費用の額の算定方法に先進医療から採り入れられた医療技術

施設基準等の種類	施設基準等の種類
・人工括約筋を用いた尿失禁手術(H24)	・
・内視鏡的大腸粘膜下層剥離術(H24)	・
・CTガイド下気管支鏡検査加算(H24)	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・

(注)1 特定機能病院の名称の承認申請の場合には、必ずしも記入しなくともよいこと。

(注)2 「施設基準等の種類」欄には、特定機能病院の名称の承認申請又は業務報告を行う3年前の4月以降に、健康保険法の規定による療養に要する費用の額の算定方法(平成六年厚生省告示第五十四号)に先進医療(当該病院において提供していたものに限る。)から採り入れられた医療技術について記入すること。

8 病理・臨床検査部門の概要

臨床検査及び病理診断を実施する部門の状況	1. 臨床検査部門と病理診断部門は別々である。 2. 臨床検査部門と病理診断部門は同一部門にまとめられている。
臨床部門が病理診断部門或いは臨床検査部門と開催した症例検討会の開催頻度	10回 / 1週間
剖検の状況	剖検症例数 28例 / 剖検率 7.60%

(様式第3)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

1 研究費補助等の実績

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
治療切除不能のstage4大腸がん症例に対する原発巣切除の意義を明らかにする研究 (H25-がん臨床一般-007)	金光幸秀	大腸外科	17,500,000	補委 厚生労働科学研究費
難治性造血器腫瘍に対する造血幹細胞移植の治療成績向上を目指した未承認・適応外薬のエビデンス確立に関する研究 (H25-がん臨床一般-012)	福田隆浩	造血幹細胞移植科	27,000,000	補委 厚生労働科学研究費
胃がんに対するリンパ節郭清を伴う腹腔鏡下手術と開腹手術との比較に関する多施設共同ランダム化比較試験 (H24-がん臨床一般-009)	片井均	胃外科	22,900,000	補委 厚生労働科学研究費
肛門扁平上皮癌に対する新規化学放射線療法確立 (H23-がん臨床一般-012)	濱口哲弥	消化管内科	12,700,000	補委 厚生労働科学研究費
若年がん患者を取り巻くがん診療・緩和治療支援の政策提言に資する研究 (H24-がん臨床-若手-001)	米盛勲	乳腺・腫瘍内科	4,800,000	補委 厚生労働科学研究費
悪性神経膠腫に対するTemozolomideの治療効果を増強した標準治療確立に関する研究 (H23-がん臨床一般-013)	浜井壮一郎	脳脊髄腫瘍科	11,600,000	補委 厚生労働科学研究費
新しい薬物療法の導入とその最適化に関する研究 (H25-3次がん一般-003)	田村友秀	呼吸器内科	23,600,000	補委 厚生労働科学研究費
乳癌患者における妊孕性保持支援のための治療選択および患者支援プログラム・関係ガイドライン策定の開発 (H24-3次がん一般-010)	清水千佳子	乳腺・腫瘍内科	8,300,000	補委 厚生労働科学研究費
小児がんの臨床評価に関する研究	小川千登世	小児腫瘍科	1,940,000	補委 厚生労働科学研究費
microRNA阻害剤による骨肉腫がん幹細胞制御を基盤とした新たな革新的がん治療の実用化を目指す前臨床試験 (H24-実用化(がん)一般-001)	川井章	骨軟部腫瘍・リハビリテーション科	100,700,000	補委 厚生労働科学研究費
早期乳がんに対するラジオ波熱焼灼療法の標準化に係る多施設共同臨床研究 (H23-臨研推一般-007)	木下貴之	乳腺外科	37,050,000	補委 厚生労働科学研究費
網羅的発現解析を基盤にした新規骨・軟部腫瘍バイオマーカーの探索と治療への応用	川井章	骨軟部腫瘍・リハビリテーション科	3,640,000	補委 日本学術振興会
乳腺デジタルトモシンセシスによる乳癌画像診断システムの開発	内山菜智子	放射線診断科	520,000	補委 日本学術振興会
外見関連患者サポートプログラムの有効性の多面的検討に関する研究	野澤桂子	アピアランス支援室	1,690,000	補委 日本学術振興会
転移性脳腫瘍に対する放射線有効例のバイオマーカーの同定	成田善孝	脳脊髄腫瘍科	2,080,000	補委 日本学術振興会
大腸微小腺腫性ポリープに関する前向きコホート研究	大竹陽介	内視鏡科	390,000	補委 日本学術振興会
乳癌・卵巣癌患者における遺伝相談・遺伝子検査に関する情報提供支援プログラムの構築	清水千佳子	乳腺・腫瘍内科	1,430,000	補委 日本学術振興会

新規モデルマウスによるIDH1遺伝子変異のグリオーマ発生における役割の解明	有田英之	脳脊髄腫瘍科	1,560,000	補 委	日本学術振興会
肝切除術における術中画像ナビゲーション手法の開発	岸庸二	肝胆膵外科	1,040,000	補 委	日本学術振興会
唾液腺腫瘍の分子病理学的診断基準の確立と治療への応用	大友梨恵	病理・臨床検査科	1,950,000	補 委	日本学術振興会
肝移植周術期における酸化ストレスの役割	松崎孝	麻酔・集中治療科	780,000	補 委	日本学術振興会
薬物療法により病状進行となる高悪性度乳癌の予測に役立つ分子マーカーの検討	津田均	病理・臨床検査科	1,300,000	補 委	日本学術振興会
KIF5B-BRET転座陽性肺癌症例の臨床病理像の解析	蔦幸治	病理・臨床検査科	1,170,000	補 委	日本学術振興会
大腸癌患者における便潜血検査免疫法の診断感度に関する研究	松田尚久	内視鏡科	2,600,000	補 委	日本学術振興会
悪性リンパ腫における個別化治療-NF- κ B刺激と周囲T細胞補助刺激シグナルとの関連	小林幸夫	血液腫瘍科	3,250,000	補 委	日本学術振興会
皮膚がんにおけるテーラーメイド分子標的医療の開発	田中亮多	乳腺・腫瘍内科	1,690,000	補 委	日本学術振興会
高エネルギーX線治療における光核反応の生物学的効果に関する研究	脇田明尚	放射線治療科	2,080,000	補 委	日本学術振興会
遊離皮弁移植におけるFlow-through吻合の有用性	宮本慎平	形成外科	3,120,000	補 委	日本学術振興会
大腸癌スクリーニングにおける内視鏡の医療経済学的検討	関口正宇	がん専門修練医	2,210,000	補 委	日本学術振興会
microRNA解析を用いた骨肉腫の薬剤奏効性予測バイオマーカーの開発	窪田大介	がん専門修練医	2,080,000	補 委	日本学術振興会
糖尿病患者の周術期血糖変動に関する研究	江木盛時	麻酔・集中治療科	2,600,000	補 委	日本学術振興会
がん患者の子どもに対する親の療養から死別までの支援のあり方についての研究	的場元弘	緩和医療科	5,460,000	補 委	日本学術振興会
抗がん抗体の適合性評価のための分子イメージング臨床研究	田村研治	乳腺・腫瘍内科	14,000,000	補 委	科学技術振興機構(JST)
粒子線治療における腫瘍の線量応答性観測システムの開発	中村哲志	放射線治療科	650,000	補 委	科学技術振興機構(JST)
卵巣明細胞腺癌に対するテムシロリムスを含む化学療法の有効性及び安全性に関する研究	温泉川真由	乳腺・腫瘍内科	2,000,000	補 委	社)日本医師会治験促進センター
治験実施に関する研究[オラパリブ]	米盛勲	乳腺・腫瘍内科	1,400,000	補 委	社)日本医師会治験促進センター

計

34

(注) 1 国、地方公共団体又は公益法人から補助金の交付又は委託を受け、当該医療機関に所属する医師等が申請の前年度に行った研究のうち、高度の医療技術の開発及び評価に資するものと判断される主なものを記入すること。

2 「研究者氏名」欄は、1つの研究について研究者が複数いる場合には、主たる研究者の氏名を記入すること。

3 「補助元又は委託元」欄は、補助の場合は「補」に、委託の場合は「委」に、○印をつけた上で、補助元又は委託元を記入すること。

(様式第3)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

2 論文発表等の実績

(1)高度の医療技術の開発及び評価を行うことの評価対象となる論文

番号	発表者氏名	発表者の所属	題名	雑誌名
1	Ueno, Hideki	Natl Canc Ctr, Tokyo 1040045, Japan;	Randomized Phase III Study of Gemcitabine Plus S-1, S-1 Alone, or Gemcitabine Alone in Patients With Locally Advanced and Metastatic Pancreatic Cancer in Japan and Taiwan: GEST Study	JOURNAL OF CLINICAL ONCOLOGY,31,13,1640,2013
2	Arita, Hideyuki	Natl Canc Ctr, Dept Neurosurg & Neurooncol, Chuo Ku, Tokyo 1040045, Japan;	Upregulating mutations in the TERT promoter commonly occur in adult malignant gliomas and are strongly associated with total 1p19q loss	ACTA NEUROPATHOLOGICA,126,2,267,2013
3	Yoshida, Akihiko	Natl Canc Ctr, Div Pathol & Clin Labs, Tokyo 1040045, Japan;	ROS1-Rearranged Lung Cancer A Clinicopathologic and Molecular Study of 15 Surgical Cases	AMERICAN JOURNAL OF SURGICAL PATHOLOGY,37,4,554,2013
4	Matsubara, Akiko	Natl Canc Ctr, Pathol & Clin Labs, Tokyo, Japan;	Frequent GNAS and KRAS mutations in pyloric gland adenoma of the stomach and duodenum	JOURNAL OF PATHOLOGY,229,4,579,2013
5	Tsuta, Koji	Natl Canc Ctr, Div Pathol, Tokyo 1040045, Japan;	The utility of the proposed IASLC/ATS/ERS lung adenocarcinoma subtypes for disease prognosis and correlation of driver gene alterations	LUNG CANCER,81,3,371,2013
6	Nishikawa, G.	Natl Canc Ctr, Pathol & Clin Labs, Tokyo 1040045, Japan;	Frequent GNAS mutations in low-grade appendiceal mucinous neoplasms	BRITISH JOURNAL OF CANCER,108,4,951,2013
7	Nakajima, Takeshi	Natl Canc Ctr, Endoscopy Div, Chuo Ku, Tokyo 1040045, Japan;	Current status of endoscopic resection strategy for large, early colorectal neoplasia in Japan	SURGICAL ENDOSCOPY AND OTHER INTERVENTIONAL TECHNIQUES 27 JOURNAL OF THORACIC AND CARDIOVASCULAR SURGERY,146,1,24,2013
8	Asamura, Hisao	Natl Canc Ctr, Tokyo, Japan;	Radiographically determined noninvasive adenocarcinoma of the lung: Survival outcomes of Japan Clinical Oncology Group 0201	LANCET ONCOLOGY,14,13,1278,2013
9	Yamada, Yasuhide	Natl Canc Ctr, Tokyo 1040045, Japan;	Leucovorin, fluorouracil, and oxaliplatin plus bevacizumab versus S-1 and oxaliplatin plus bevacizumab in patients with metastatic colorectal cancer (SOFT): an open-label, non-inferiority, randomised phase 3 trial	LANCET ONCOLOGY,14,13,1278,2013
10	Ohtomo, Rie	Natl Canc Ctr, Dept Pathol & Clin Lab, Tokyo, Japan;	SOX10 is a novel marker of acinus and intercalated duct differentiation in salivary gland tumors: a clue to the histogenesis for tumor diagnosis	MODERN PATHOLOGY,26,8,1041,2013

11	Kondo, Shunsuke	Natl Canc Ctr, Dept Med Oncol, Chuo Ku, Tokyo 1040045, Japan;	Clinical impact of c-Met expression and its gene amplification in hepatocellular carcinoma	INTERNATIONAL JOURNAL OF CLINICAL ONCOLOGY,18,2, 207,2013
12	Tamura, Kenji	Natl Canc Ctr, Dept Breast & Med Oncol, Tokyo 1040045, Japan;	Cu-64-DOTA-Trastuzumab PET Imaging in Patients with HER2-Positive Breast Cancer	JOURNAL OF NUCLEAR MEDICINE,54,11,1 869,2013
13	Yoshida, Akihiko	Natl Canc Ctr, Dept Pathol, Tokyo 1040045, Japan;	Anaplastic lymphoma kinase status in rhabdomyosarcomas	MODERN PATHOLOGY,26,6 ,772,2013
14	Matsubara, Akiko	Natl Canc Ctr, Dept Pathol, Tokyo, Japan;	Prevalence of MED12 mutations in uterine and extrauterine smooth muscle tumours	HISTOPATHOLOGY,62,4,657,2013
15	Horinouchi, Hidehito	Natl Canc Ctr, Div Internal Med & Thorac Oncol, Tokyo, Japan;	Long-term results of concurrent chemoradiotherapy using cisplatin and vinorelbine for stage III non-small-cell lung cancer	CANCER SCIENCE,104,1,93 ,2013
16	Yamada, Masayoshi	Natl Canc Ctr, Endoscopy Div, Tokyo, Japan;	Long-term outcome of endoscopic resection of superficial adenocarcinoma of the esophagogastric junction	ENDOSCOPY,45,1 2,992,2013
17	Honda, Kazunori	Natl Canc Ctr, Div Thorac Oncol, Chuo Ku, Tokyo, Japan;	Phase I and pharmacokinetic/pharmacodynamic study of RO5126766, a first-in-class dual Raf/MEK inhibitor, in Japanese patients with advanced solid tumors	CANCER CHEMOTHERAPY AND PHARMACOLOGY ,72,3,577,2013
18	Yamamoto, Seiichiro	Natl Canc Ctr, Div Colorectal Surg, Tokyo 1040045, Japan;	Laparoscopic Surgery for Stage 0/I Rectal Carcinoma Short-term Outcomes of a Single-Arm Phase II Trial	ANNALS OF SURGERY,258,2,2 83,2013
19	Masai, Kyohei	Natl Canc Ctr, Div Pathol & Clin Lab, Tokyo 1040045, Japan;	Expression of Squamous Cell Carcinoma Markers and Adenocarcinoma Markers in Primary Pulmonary Neuroendocrine Carcinomas	APPLIED IMMUNOHISTOCHEMISTRY & MOLECULAR MORPHOLOGY,21 4 292 2013
20	Sekine, Ikuo	Natl Canc Ctr, Div Internal Med & Thorac Oncol, Tokyo, Japan;	Risk factors of chemotherapy-induced nausea and vomiting: Index for personalized antiemetic prophylaxis	CANCER SCIENCE,104,6,71 1,2013
21	Miyamoto, Shimpei	Natl Canc Ctr, Div Plast & Reconstruct Surg, Tokyo 1040045, Japan;	Combined use of free jejunum and pectoralis major muscle flap with skin graft for reconstruction after salvage total pharyngolaryngectomy	MICROSURGERY, 33,2,119,2013

22	Nagao, Tomoya	Natl Canc Ctr, Dept Breast Oncol, Chuo Ku, Tokyo 1040045, Japan;	Locoregional recurrence risk factors in breast cancer patients with positive axillary lymph nodes and the impact of postmastectomy radiotherapy	INTERNATIONAL JOURNAL OF CLINICAL ONCOLOGY,18,1, 54,2013
23	Tanabe, Yuko	Natl Canc Ctr, Dept Breast Oncol & Med Oncol, Chuo Ku, Tokyo 1040045, Japan;	Paclitaxel-induced peripheral neuropathy in patients receiving adjuvant chemotherapy for breast cancer	INTERNATIONAL JOURNAL OF CLINICAL ONCOLOGY,18,1, 132,2013
24	Tada, K.	Natl Canc Ctr, Dept Hematol & Hematopiet Stem Cell Transplantat, Chuo Ku, Tokyo 1040045, Japan;	Stenotrophomonas maltophilia infection in hematopoietic SCT recipients: high mortality due to pulmonary hemorrhage	BONE MARROW TRANSPLANTATI ON,48,1,74,2013
25	Izumo, Takehiro	Natl Canc Ctr, Dept Endoscopy, Resp Endoscopy Div, Tokyo 1040045, Japan	The diagnostic utility of endobronchial ultrasonography with a guide sheath and tomosynthesis images for ground glass opacity pulmonary lesions	JOURNAL OF THORACIC DISEASE,5,6,745,2 013
26	Yamada, Y.	Natl Canc Ctr, Dept Gastrointestinal Med Oncol, Tokyo 1040045, Japan;	Impact of excision repair cross-complementing gene 1 (ERCC1) on the outcomes of patients with advanced gastric cancer: correlative study in Japan Clinical Oncology Group Trial JCOG9912	ANNALS OF ONCOLOGY,24,10 ,2560,2013
27	Abe, Seiichiro	Natl Canc Ctr, Endoscopy Div, Tokyo 1040045, Japan;	Short- and long-term outcomes of endoscopic submucosal dissection for undifferentiated early gastric cancer	ENDOSCOPY,45,9 ,703,2013
28	Morizane, Chigusa	Natl Canc Ctr, Tokyo, Japan;	Randomized phase II study of gemcitabine plus S-1 versus S-1 in advanced biliary tract cancer: A Japan Clinical Oncology Group trial (JCOG 0805)	CANCER SCIENCE,104,9,12 11,2013
29	Kubota, Daisuke	Natl Canc Ctr, Div Pharmacoprote, Tokyo, Japan;	Gene Expression Network Analysis of ETV1 Reveals KCTD10 as a Novel Prognostic Biomarker in Gastrointestinal Stromal Tumor	PLOS ONE,8,8,,2013
30	Kondo, S.	Natl Canc Ctr, Div Hepatobiliary & Pancreat Oncol, Chuo Ku, Tokyo 1040045, Japan;	Clinical impact of pentraxin family expression on prognosis of pancreatic carcinoma	BRITISH JOURNAL OF CANCER,109,3,73 9,2013
31	Nakamura, Harumi	Natl Canc Ctr, Dept Pathol & Clin Labs, Tokyo 1040045, Japan;	Aberrant anaplastic lymphoma kinase expression in high-grade pulmonary neuroendocrine carcinoma	JOURNAL OF CLINICAL PATHOLOGY,66,8 ,705,2013
32	Hojo, Takashi	Natl Canc Ctr, Dept Breast Surg, Tokyo, Japan;	Use of the neo-adjuvant exemestane in post-menopausal estrogen receptor-positive breast cancer: A randomized phase II trial (PTEX46) to investigate the optimal duration of preoperative endocrine therapy	BREAST,22,3,263, 2013
33	Kushima, Ryoji	Natl Canc Ctr, Pathol & Clin Lab Div, Tokyo 1040045, Japan;	Gastric adenocarcinoma of the fundic gland type shares common genetic and phenotypic features with pyloric gland adenoma	PATHOLOGY INTERNATIONAL, 63,6,318,2013

小計31

34	Tsuta, Koji	Natl Canc Ctr, Div Pathol & Clin Labs, Tokyo 1040045, Japan;	Insulin-like growth factor-1 receptor protein expression and gene copy number alterations in non small cell Lung carcinomas	HUMAN PATHOLOGY,44,6,975,2013
35	Yamamoto, Noboru	Natl Canc Ctr, Div Thorac Oncol, Tokyo, Japan;	Phase I study of oral gemcitabine prodrug (LY2334737) in Japanese patients with advanced solid tumors	CANCER CHEMOTHERAPY AND PHARMACOLOGY,71,6,1645;2013
36	Akiyoshi, Kohei	Natl Canc Ctr, Gastrointestinal Oncol Div, Chuo Ku, Tokyo 1040045, Japan;	KRAS Mutations in Patients with Colorectal Cancer as Detected by High-resolution Melting Analysis and Direct Sequencing	ANTICANCER RESEARCH,33,5,2129,2013
37	Esaki, M.	Natl Canc Ctr, Hepatobiliary & Pancreat Surg Div, Tokyo, Japan;	Left hepatic trisectionectomy for advanced perihilar cholangiocarcinoma	BRITISH JOURNAL OF SURGERY,100,6,801,2013
38	Katanasaka, Yasufumi	Natl Canc Ctr, Shien Lab, Chuo Ku, Tokyo, Japan;	Epidermal growth factor receptor variant type III markedly accelerates angiogenesis and tumor growth via inducing c-myc mediated angiopoietin-like 4 expression in malignant glioma	MOLECULAR CANCER,12,,,2013
39	Suzuki, H.	Natl Canc Ctr, Endoscopy Div, Chuo Ku, Tokyo 1040045, Japan	Is endoscopic submucosal dissection an effective treatment for operable patients with clinical submucosal invasive early gastric cancer?	ENDOSCOPY,45,2,93,2013
40	Takayasu, Kenichi	Natl Canc Ctr, Dept Diagnost Radiol, Tokyo 1040045, Japan	Transcatheter Arterial Chemoembolization for Unresectable Hepatocellular Carcinoma: Recent Progression and Perspective	ONCOLOGY,84,,28,2013
41	Shimma, Shuichi	Natl Canc Ctr, Div Translat Res, Exploratory Oncol Res & Clin Trial Ctr, Chuo Ku, Tokyo 1040045, Japan;	Alternative two-step matrix application method for imaging mass spectrometry to avoid tissue shrinkage and improve ionization efficiency	JOURNAL OF MASS SPECTROMETRY,48,12,1285,2013
42	Nakadate, Yusuke	Natl Canc Ctr, Shien Lab, Chuo Ku, Tokyo 1040045, Japan;	Silencing of poly(ADP-ribose) glycohydrolase sensitizes lung cancer cells to radiation through the abrogation of DNA damage checkpoint	BIOCHEMICAL AND BIOPHYSICAL RESEARCH COMMUNICATIONS 441 4 793 2013
43	Yoshio, Kotaro	Natl Canc Ctr, Dept Radiat Oncol, Tokyo 1040045, Japan;	Inverse planning for combination of intracavitary and interstitial brachytherapy for locally advanced cervical cancer	JOURNAL OF RADIATION RESEARCH,54,6,1146,2013
44	Hara, Tomohiko	Natl Canc Ctr, Div Urol, Tokyo 1040045, Japan;	Ability of preoperative 3.0-Tesla magnetic resonance imaging to predict the absence of side-specific extracapsular extension of prostate cancer	INTERNATIONAL JOURNAL OF UROLOGY,20,10,993,2013
45	Watanabe, T.	Natl Canc Ctr, Div Hematol, Tokyo 1040045, Japan;	Phytohemagglutinin-induced IL2 mRNA in whole blood can predict bortezomib-induced peripheral neuropathy for multiple myeloma patients	BLOOD CANCER JOURNAL,3,,,2013

46	Sekiguchi, Masau	Natl Canc Ctr, Endoscopy Div, Tokyo 1040045, Japan;	Favorable long-term outcomes of endoscopic submucosal dissection for locally recurrent early gastric cancer after endoscopic resection	ENDOSCOPY,45,9,708,2013
47	Ikeda, Masafumi	Natl Canc Ctr, Hepatobiliary & Pancreat Oncol Div, Tokyo, Japan;	A multi-institutional phase II trial of hepatic arterial infusion chemotherapy with cisplatin for advanced hepatocellular carcinoma with portal vein tumor thrombosis	CANCER CHEMOTHERAPY AND PHARMACOLOGY,72,2,463,2013
48	Ishida, Michihiro	Natl Canc Ctr, Gastr Surg Div, Tokyo, Japan;	Neuroendocrine Carcinoma of the Stomach Morphologic and Immunohistochemical Characteristics and Prognosis	AMERICAN JOURNAL OF SURGICAL PATHOLOGY,37,7,949,2013
49	Odagaki, Tomoyuki	Natl Canc Ctr, Endoscopy Div, Tokyo 1040045, Japan	What is the accuracy of autofluorescence imaging in identifying non-polypoid colorectal neoplastic lesions when reviewed by trainees? A pilot study	DIGESTIVE ENDOSCOPY,25,4,428,2013
50	Shimizu, Chikako	Natl Canc Ctr, Breast & Med Oncol Div, Chuo Ku, Tokyo 1040045, Japan;	Physicians' knowledge, attitude, and behavior regarding fertility issues for young breast cancer patients: a national survey for breast care specialists	BREAST CANCER,20,3,230,2013
51	Asahina, Hajime	Natl Canc Ctr, Div Internal Med & Thorac Oncol, Chuo Ku, Tokyo 1040045, Japan;	Safety and tolerability of AZD8055 in Japanese patients with advanced solid tumors; a dose-finding phase I study	INVESTIGATIONAL NEW DRUGS,31,3,677,2013
52	Tanaka, R.	Natl Canc Ctr, Dept Dermatol Oncol, Tokyo, Japan;	Human epidermal growth factor receptor 2 protein overexpression and gene amplification in extramammary Paget disease	BRITISH JOURNAL OF DERMATOLOGY,168,6,1259,2013
53	Sone, Miyuki	Natl Canc Ctr, Dept Diagnost Radiol, Chuo Ku, Tokyo 1040045, Japan;	Job satisfaction, income, workload, workplace, and demographics of Japanese radiologists in the 2008 survey	JAPANESE JOURNAL OF RADIOLOGY,31,5,364,2013
54	Kawano, Akiko	Natl Canc Ctr, Breast & Med Oncol Div, Chuo Ku, Tokyo 1040045, Japan;	Prognostic factors for stage IV hormone receptor-positive primary metastatic breast cancer	BREAST CANCER,20,2,145,2013
55	Maeshima, Akiko M.	Natl Canc Ctr, Dept Pathol & Clin Lab, Tokyo 1040045, Japan;	Follow-up Data of 10 Patients With B-cell Non-Hodgkin Lymphoma With a CD20-negative Phenotypic Change After Rituximab-containing Therapy	AMERICAN JOURNAL OF SURGICAL PATHOLOGY,37,4,563,2013
56	Nakamichi, Shinji	Natl Canc Ctr, Div Internal Med & Thorac Oncol, Chuo Ku, Tokyo 1040045, Japan	Successful EGFR-TKI Rechallenge of Leptomeningeal Carcinomatosis after Gefitinib-induced Interstitial Lung Disease	JAPANESE JOURNAL OF CLINICAL ONCOLOGY,43,4,422,2013

57	Oguro, Seiji	Natl Canc Ctr, Hepatobiliary & Pancreat Surg Div, Chuo Ku, Tokyo 1040045, Japan;	Perioperative and long-term outcomes after pancreaticoduodenectomy in elderly patients 80 years of age and older	LANGENBECKS ARCHIVES OF SURGERY,398,4,5 31,2013
58	Arita, Hideyuki	Natl Canc Ctr, Dept Neurosurg & Neurooncol, Chuo Ku, Tokyo 1040045, Japan;	Management of glioblastoma in an NF1 patient with moyamoya syndrome: a case report	CHILDS NERVOUS SYSTEM,29,2,341, 2013
59	Asaga, Sota	Natl Canc Ctr, Breast Surg Div, Tokyo 1040045, Japan;	Prognostic Factors for Triple-Negative Breast Cancer Patients Receiving Preoperative Systemic Chemotherapy	CLINICAL BREAST CANCER,13,1,40,2 013
60	Shibui, Soichiro	Natl Canc Ctr, Dept Neurosurg & Neurooncol, Chuo Ku, Tokyo 1040045, Japan;	randomized trial of chemoradiotherapy and adjuvant chemotherapy with nimustine (ACNU) versus nimustine plus procarbazine for newly diagnosed anaplastic astrocytoma and glioblastoma (ICOG0305)	CANCER CHEMOTHERAPY AND PHARMACOLOGY ,71,2,511,2013
61	Jimbo, Kenjiro	Natl Canc Ctr, Breast Surg Div, Tokyo, Japan;	Sentinel and nonsentinel lymph node assessment using a combination of one-step nucleic acid amplification and conventional histological examination	BREAST,22,6,1194 ,2013
62	Ogawa, Kohei	Natl Canc Ctr, Gastrointestinal Oncol Div, Chuo Ku, Tokyo 1040045, Japan;	A retrospective analysis of periodontitis during bevacizumab treatment in metastatic colorectal cancer patients	INTERNATIONAL JOURNAL OF CLINICAL ONCOLOGY,18,6, 1020,2013
63	Terazawa, Tetsuji	Natl Canc Ctr, Gastrointestinal Med Oncol Div, Chuo Ku, Tokyo 1040045, Japan	Impact of adding cisplatin to S-1 in elderly patients with advanced gastric cancer	JOURNAL OF CANCER RESEARCH AND CLINICAL ONCOLOGY,139,1 2 2111 2013
64	Fuji, Shigeo	Natl Canc Ctr, Hematopoiet Stem Cell Transplantat Div, Chuo Ku, Tokyo 1040045, Japan	reduced-intensity conditioning regimen with low-dose ATG-F for unrelated bone marrow transplant is associated with lower non-relapse mortality than a regimen with low-dose TBI: a single-center retrospective analysis of 103 cases	INTERNATIONAL JOURNAL OF HEMATOLOGY,98 ,5,608,2013
65	Horinouchi, Hidehito	Natl Canc Ctr, Div Thorac Oncol, Tokyo 1040045, Japan	Short Hydration in Chemotherapy Containing Cisplatin (≥ 75 mg/m ²) for Patients with Lung Cancer: A Prospective Study	JAPANESE JOURNAL OF CLINICAL ONCOLOGY,43,11 ,1105,2013
66	Inaba, Koji	Natl Canc Ctr, Dept Radiat Oncol, Chuo Ku, Tokyo 1040045, Japan;	Results of radical radiotherapy for squamous cell carcinoma of the eyelid	JOURNAL OF RADIATION RESEARCH,54,6,1 131,2013
67	Kikuta, Kazutaka	Natl Canc Ctr, Div Orthoped Surg, Tokyo, Japan;	An Analysis of Factors Related to Recurrence of Myxofibrosarcoma	JAPANESE JOURNAL OF CLINICAL ONCOLOGY,43,11 ,1093,2013
68	Maeshima, Akiko Miyagi	Natl Canc Ctr, Dept Pathol & Clin Lab, Chuo Ku, Tokyo 1040045, Japan;	Prognostic implications of histologic grade and intensity of Bcl-2 expression in follicular lymphomas undergoing rituximab-containing therapy	HUMAN PATHOLOGY,44,1 1,2529,2013

69	Miyamoto, Shimpei	Natl Canc Ctr, Div Plast & Reconstruct Surg, Tokyo 1040045, Japan;	Free descending genicular artery perforator flap harvested with the free-style approach: A case report	JOURNAL OF PLASTIC RECONSTRUCTIVE AND AESTHETIC SURGERY,66,11,1604,2013
70	Murakami, Naoya	Natl Canc Ctr, Dept Gynecol Oncol, Tsukiji Chuo Ku, Tokyo, Japan;	Radiation Therapy for Stage IVA Cervical Cancer	ANTICANCER RESEARCH,33,11,4989,2013
71	Sofue, Keitaro	Natl Canc Ctr, Div Diagnost Radiol, Chuo Ku, Tokyo 1040045, Japan;	Flow confirmation study for central venous port in oncologic outpatient undergoing chemotherapy: Evaluation of suspected system-related mechanical complications	EUROPEAN JOURNAL OF RADIOLOGY,82,11,1691,2013
72	Inaba, Koji	Natl Canc Ctr, Dept Radiat Oncol, Chuo Ku, Tokyo 1040045, Japan;	Increased risk of gastric adenocarcinoma after treatment of primary gastric diffuse large B-cell lymphoma	BMC CANCER,13,,2013
73	Nakamura, Fumihiko	Natl Canc Ctr, Endoscopy Div, Chuo Ku, Tokyo 1040045, Japan;	A case of rectal tumor in which the shape altered with regression in short period	BMC GASTROENTEROLOGY,13,,2013
74	Fukushima, Shintaro	Natl Canc Ctr, Dept Pathol & Clin Labs, Tokyo 1040045, Japan;	A case of more than 20 years survival with glioblastoma, and development of cavernous angioma as a delayed complication of radiotherapy	NEUROPATHOLOGY,33,5,576,2013
75	Kurosawa, Saiko	Natl Canc Ctr, Stem Cell Transplantat Div, Tokyo, Japan;	Prognosis of patients with core binding factor acute myeloid leukemia after first relapse	HAEMATOLOGICA,98,10,1525,2013
76	Momota, Hiroyuki	Natl Canc Ctr, Dept Neurosurg & Neurooncol, Chuo Ku, Tokyo 1040045, Japan	Secondary hematological malignancies associated with temozolomide in patients with glioma	NEURO-ONCOLOGY,15,10,1445,2013
77	Ohno, Makoto	Natl Canc Ctr, Dept Neurosurg & Neurooncol, Chuo Ku, Tokyo 1040045, Japan;	Secondary glioblastomas with IDH1/2 mutations have longer glioma history from preceding lower-grade gliomas	BRAIN TUMOR PATHOLOGY,30,4,224,2013
78	Abe, Seiichiro	Natl Canc Ctr, Endoscopy Div, Tokyo 1040045, Japan;	A Retrospective Study of 5-year Outcomes of Radiotherapy for Gastric Mucosa-associated Lymphoid Tissue Lymphoma Refractory to Helicobacter pylori Eradication Therapy	JAPANESE JOURNAL OF CLINICAL ONCOLOGY,43,9,917,2013
79	Kurosawa, S.	Natl Canc Ctr, Stem Cell Transplantat Div, Tokyo 1040045, Japan;	Recent decrease in non-relapse mortality due to GVHD and infection after allogeneic hematopoietic cell transplantation in non-remission acute leukemia	BONE MARROW TRANSPLANTATION,48,9,1198,2013

80	Miyamoto, Shimpei	Natl Canc Ctr, Div Plast & Reconstruct Surg, Tokyo 1040045, Japan;	Vastus Lateralis Muscle Flaps for Monitoring Buried Anterolateral Thigh Flaps	JOURNAL OF CRANIOFACIAL SURGERY,24,5,1739,2013
81	Murakami, N.	Natl Canc Ctr, Dept Radiat Oncol, Chuo Ku, Tokyo 1040045, Japan;	Radiation therapy for primary vaginal carcinoma	JOURNAL OF RADIATION RESEARCH,54,5,931,2013
82	Kawabata, Hiroyuki	Natl Canc Ctr, Endoscopy Div, Tokyo 1040045, Japan;	Bone metastasis from early gastric cancer following non-curative endoscopic submucosal dissection	WORLD JOURNAL OF GASTROENTEROLOGY,19,30,5016,2013
83	Kuroda, Yuuki	Natl Canc Ctr, Dept Radiat Oncol, Tokyo, Japan;	Acute Radiation Esophagitis Caused by High-dose Involved Field Radiotherapy with Concurrent Cisplatin and Vinorelbine for Stage III Non-small Cell Lung Cancer	TECHNOLOGY IN CANCER RESEARCH & TREATMENT,12,4,333,2013
84	Kondō, Shunsuke	Natl Canc Ctr, Div Med Oncol, Tokyo, Japan;	Glycemia Control Using A1C Level in Terminal Cancer Patients with Preexisting Type 2 Diabetes	JOURNAL OF PALLIATIVE MEDICINE,16,7,790,2013
85	Lin, Feiyue	Natl Canc Ctr, Div Musculoskeletal Oncol, Tokyo, Japan;	Massive ossification around the prosthesis after limb salvage treatment for osteosarcoma	JOURNAL OF ORTHOPAEDIC SCIENCE,18,4,667,2013
86	Maeshima, Akiko M.	Natl Canc Ctr, Dept Pathol & Clin Lab, Tokyo, Japan;	Clinicopathological prognostic indicators in 107 patients with diffuse large B-cell lymphoma transformed from follicular lymphoma	CANCER SCIENCE,104,7,952,2013
87	Narita, Yoshitaka	Natl Canc Ctr, Dept Neurosurgery & Neurooncol, Tokyo 1040045, Japan	Current Knowledge and Treatment Strategies for Grade II Gliomas	NEUROLOGIA MEDICO-CHIRURGICA,53,7,429,2013
88	Nonaka, Satoru	Natl Canc Ctr, Endoscopy Div, Tokyo 1040045, Japan;	Endoscopic submucosal dissection for early gastric cancer in the remnant stomach after gastrectomy	GASTROINTESTINAL ENDOSCOPY,78,1,63,2013
89	Otsuka, Taiga	Natl Canc Ctr, Hepatobiliary & Pancreat Oncol Div, Chuo Ku, Tokyo 1040045, Japan;	Gemcitabine in Patients With Intraductal Papillary Mucinous Neoplasm With an Associated Invasive Carcinoma of the Pancreas	PANCREAS,42,5,889,2013
90	Hori, Natsuko	Natl Canc Ctr, Div Pharm, Tokyo 1040045, Japan;	Reasons for avoidance of bevacizumab with first-line FOLFOX for advanced colorectal cancer	INTERNATIONAL JOURNAL OF CLINICAL ONCOLOGY,18,3,435,2013
91	Kato, Ken	Natl Canc Ctr, Gastrointestinal Oncol Div, Tokyo 1040045, Japan;	Phase II Study of Concurrent Chemoradiotherapy at the Dose of 50.4 Gy with Elective Nodal Irradiation for Stage IIIII Esophageal Carcinoma	JAPANESE JOURNAL OF CLINICAL ONCOLOGY,43,6,608,2013

92	Sakamoto, T.	Natl Canc Ctr, Endoscopy Div, Tokyo, Japan	Clinicopathological features of colorectal polyps: evaluation of the 'predict, resect and discard' strategies	COLORECTAL DISEASE,15,6,E29 5,2013
93	Sakamoto, Taku	Natl Canc Ctr, Endoscopy Div, Chuo Ku, Tokyo 1040045, Japan	How often should we perform surveillance colonoscopy after surgery for colorectal cancer?	INTERNATIONAL JOURNAL OF COLORECTAL DISEASE,28,6,835, 2013
94	Sekiguchi, Masau	Natl Canc Ctr, Endoscopy Div, Tokyo, Japan;	Risk factors for lymphatic and venous involvement in endoscopically resected gastric cancer	JOURNAL OF GASTROENTEROLOGY,48,6,706,20 13
95	Watanabe, Shun-ichi	Natl Canc Ctr, Div Thorac Surg, Tokyo 1040045, Japan;	Results of T4 Surgical Cases in the Japanese Lung Cancer Registry Study Should Mediastinal Fat Tissue Invasion Really be Included in the T4 Category?	JOURNAL OF THORACIC ONCOLOGY,8,6,7 59,2013
96	Odagaki, Tomoyuki	Natl Canc Ctr, Endoscopy Div, Tokyo 1040045, Japan;	Small undifferentiated intramucosal gastric cancer with lymph-node metastasis: Case report	WORLD JOURNAL OF GASTROENTEROLOGY,19,20,3157, 2013
97	Iwasa, Satoru	Natl Canc Ctr, Tokyo, Japan	Ring-Enhancing Lesion Associated With Radiation-Induced Liver Disease	JOURNAL OF CLINICAL ONCOLOGY,31,14 ,E243,2013
98	Miyake, Mototaka	Natl Canc Ctr, Dept Diagnost Radiol, Chuo Ku, Tokyo 1040045, Japan;	Comparative performance of a primary-reader and second-reader paradigm of computer-aided detection for CT colonography in a low-prevalence screening population.	JAPANESE JOURNAL OF RADIOLOGY,31,5, 310,2013
99	Oda, Ichiro	Natl Canc Ctr, Endoscopy Div, Tokyo 1040045, Japan;	Lymph-node metastasis in surgical resection of intramucosal esophageal adenocarcinoma	DIGESTIVE ENDOSCOPY,25,, 177,2013
100	Oyama, Mayumi	Natl Canc Ctr, Dept Pathol & Clin Lab, Tokyo 1040045, Japan;	Prognostic Impact of Pleural Invasion in 1488 Patients with Surgically Resected Non-small Cell Lung Carcinoma	JAPANESE JOURNAL OF CLINICAL ONCOLOGY,43,5, 540,2013
101	Takayasu, Kenichi	Natl Canc Ctr, Dept Diagnost Radiol, Tokyo 1040045, Japan;	Clinical implication of hypovascular hepatocellular carcinoma studied in 4,474 patients with solitary tumour equal or less than 3cm	LIVER INTERNATIONAL, 33,5,762,2013
102	Yunokawa, Mayu	Natl Canc Ctr, Dept Breast & Med Oncol, Chuo Ku, Tokyo 1040045, Japan;	A pilot feasibility study for cisplatin plus S-1 for the treatment for advanced or recurrent cervical cancer	CANCER CHEMOTHERAPY AND PHARMACOLOGY ,71,5,1369,2013
103	Hiramoto, Nobuhiro	Natl Canc Ctr, Dept Hematol, Tokyo 1040045, Japan;	Ewing Sarcoma Arising After Treatment of Diffuse Large B-cell Lymphoma	JAPANESE JOURNAL OF CLINICAL ONCOLOGY,43,4, 417,2013

104	Nagatsuma, Akiko Kawano	Natl Canc Ctr, Div Breast & Med Oncol, Chuo Ku, Tokyo 1040045, Japan;	Impact of recent parity on histopathological tumor features and breast cancer outcome in premenopausal Japanese women	BREAST CANCER RESEARCH AND TREATMENT,138, 3,941,2013
105	Oya, Hisaharu	Natl Canc Ctr, Div Surg, Tokyo 1040045, Japan;	Mandatory Palliative Care Education for Surgical Residents: Initial Focus on Teaching Pain Management	JAPANESE JOURNAL OF CLINICAL ONCOLOGY,43,2, 170,2013
106	Sofue, Keitaro	Natl Canc Ctr, Dept Diagnost Radiol, Chuo Ku, Tokyo 1040045, Japan;	Life-threatening Cerebral Edema Caused by Acute Occlusion of a Superior Vena Cava Stent	CARDIOVASCULAR AND INTERVENTIONAL RADIOLOGY,36,1, 272,2013
107	Akashi-Tanaka, Sadako	Natl Canc Ctr, Div Breast Surg, Chuo Ku, Tokyo 1040045, Japan;	Preoperative CT evaluation of intraductal spread of breast cancer and surgical treatment	BREAST CANCER,20,1,21,2013
108	Hashimoto, Hironobu	Natl Canc Ctr, Div Pharm, Chuo Ku, Tokyo 1040045, Japan;	A Double-blind, Placebo-controlled Study of the Safety and Efficacy of Vitamin K1 Ointment for the Treatment of Patients with Cetuximab-induced Acneiform Eruption	JAPANESE JOURNAL OF CLINICAL ONCOLOGY,43,1, 92,2013
109	Kobayashi, Saori	Natl Canc Ctr, Chuo Ku, Div Pathol & Clin Labs, Tokyo 1040045, Japan;	Pulmonary neuroendocrine tumors with nuclear inclusion	PATHOLOGY RESEARCH AND PRACTICE,209,9,574,2013
110	Lin, Feiyue	Natl Canc Ctr, Div Musculoskeletal Oncol, Tokyo 1040045, Japan;	Minimally invasive solid long segmental fixation combined with direct decompression in patients with spinal metastatic disease	INTERNATIONAL JOURNAL OF SURGERY,11,2,173,2013
111	Miyamoto, Shimpei	Natl Canc Ctr, Div Plast & Reconstruct Surg, Tokyo 1040045, Japan;	Flow-through fibula flap using soleus branch as distal runoff: A case report	MICROSURGERY, 33,1,60,2013
112	Okazaki, Shunsuke	Natl Canc Ctr, Gastrointestinal Oncol Div, Tokyo, Japan;	A feasibility study of outpatient chemotherapy with S-1+cisplatin in patients with advanced gastric cancer	GASTRIC CANCER,16,1,41,2013
	合計112			

小計37

小計7

合計112

(注) 1 当該特定機能病院に所属する医師等が申請の前年度に発表した英語論文のうち、高度の医療技術の開発および評価に資するものと判断されるものを七十件以上記入すること。七十件以上発表を行っている場合には、七十件のみを記載するのではなく、合理的な範囲で可能な限り記載すること。

2 報告の対象とするのは、筆頭著者の所属先が当該特定機能病院である論文であり、査読のある学術雑誌に掲載されたものに限るものであること。ただし、実態上、当該特定機能病院を附属している大学の講座等と当該特定機能病院の診療科が同一の組織として活動を行っている場合においては、筆頭著者の所属先が大学の当該講座等であっても、論文の数の算定対象に含めるものであること(筆頭著者が当該特定機能病院に所属している場合に限る)。

3 「発表者の所属」については、論文に記載されている所属先をすべて記載すること。

4 「雑誌名」欄には、「雑誌名」「巻数・号数」「該当ページ」「出版年」について記載すること。

5 平成二十六年度中の業務報告において当該実績が七十件未満の場合には、平成二十六年度の改正前の基準による実績についても報告すること。

(2)高度の医療技術の開発及び評価を行うことの評価対象とならない論文(任意)

番号	発表者氏名	発表者の所属	題名	雑誌名
1				
2				
3				
4				
5				
～				

(注) 1 当該医療機関に所属する医師等が申請の前年度に発表したもののうち、高度の医療技術の開発および評価に資するものと判断される主なものを記入すること。

2 「発表者の所属」については、論文に記載されている所属先をすべて記載すること。

3 「雑誌名」欄には、「雑誌名」「巻数・号数」「該当ページ」「出版年」について記載すること。

(様式第3)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

3 高度の医療技術の開発及び評価の実施体制

(1) 倫理審査委員会の開催状況

① 倫理審査委員会の設置状況	有・無
② 倫理審査委員会の手順書の整備状況	有・無
・ 手順書の主な内容 委員会の運営方法、記録の保管について定めている。	
③ 倫理審査委員会の開催状況	年 12 回

- (注) 1 倫理審査委員会については、「臨床研究に関する倫理指針」に定める構成である場合に「有」に○印を付けること。
2 「③倫理審査委員会の開催状況」に係る報告については、平成二十六年度中の業務報告において開催実績が無い場合には、平成二十六年四月以降の実績を報告しても差し支えないこと（その場合には、その旨を明らかとする）。

(2) 利益相反を管理するための措置

① 利益相反を審査し、適当な管理措置について検討するための委員会の設置状況	有・無
② 利益相反の管理に関する規定の整備状況	有・無
・ 規定の主な内容 管理体制を定め、委員会にてCOIについて審査し、必要な指導を行うことを定めている。	
③ 利益相反を審査し、適当な管理措置について検討するための委員会の開催状況	年 4 回

- (注) 「③利益相反を審査し、適当な管理措置について検討するための委員会の開催状況」に係る報告については、平成二十六年度中の業務報告において開催実績が無い場合には、平成二十六年四月以降の実績を報告しても差し支えないこと（その場合には、その旨を明らかとする）。

(3) 臨床研究の倫理に関する講習等の実施

① 臨床研究の倫理に関する講習等の実施状況	年 2 回
・ 研修の主な内容 研究倫理と被験者保護について	

- (注) 「①臨床研究の倫理に関する講習等の実施状況」に係る報告については、平成二十六年度中の業務報告において実施実績が無い場合には、平成二十六年四月以降の実績を報告しても差し支えないこと（その場合には、その旨を明らかとする）。

(様式第4)

高度の医療に関する研修を行わせる能力を有することを証する書類

1 研修の内容

がん専門修練医・・・レジデント正規コース研修修了、またはこれに相当する学識を有し、5年以上の臨床経験を有する医師を対象とし、がんの診断・治療・研究に必要な高度先進的な知識と技術を有するがん診療の専門医を育成することを目的としている。研修年限は2年で、指導医のもとで高度の知識・技術の習得・開発、さらには臨床研究、トランスレーショナルリサーチ、基礎研究も実践する。各領域の将来のリーダーを目指す人材の育成を目的とした研修制度である。

正規レジデント・・・2年以上の臨床経験を有する者を対象に、複数診療科のローテーション研修、あるいは特定診療科の研修を通して、がんに関する幅広い知識と技術の習得を目指す。研修年限は3年で、我が国を代表する指導医のもとでがん診療、がん研究に従事する。日本のがん医療を支える、すぐれたがん専門医を育成することを目的とした、国立がん研究センター教育・研修制度の中核となる研修制度である。

短期レジデント・・・がん医療の均てん化に貢献することを目的として、柔軟な研修開始時期、研修期間により研修者のニーズに幅広く対応することを目的とした研修制度である。研修時期は4月、7月、10月、1月から選択可能であり、研修期間は診療科により異なるが、最短で3ヶ月、最長で2年までである。

2 研修の実績

研修医の人数	141.9 人
--------	---------

(注) 前年度の研修医の実績を記入すること。

3 研修統括者

研修統括者氏名	診療科	役職等	臨床経験年数	特記事項
成田 善孝	脳脊髄腫瘍科	科長	23 年	
鈴木 茂伸	眼腫瘍科	科長	21 年	
吉本 世一	頭頸部腫瘍科	科長	23 年	
宮本 慎平	形成外科	科長	13 年	
木下 貴之	乳腺外科	科長	26 年	
田村 研治	乳腺・腫瘍内科	科長	22 年	
淺村 尚生	呼吸器外科	科長	31 年	
大江 裕一郎	呼吸器内科	科長	30 年	
斎藤 豊	内視鏡科	科長	22 年	
日月 裕司	食道外科	科長	35 年	
片井 均	胃外科	科長	32 年	
金光 幸秀	大腸外科	科長	24 年	
朴 成和	消化管内科	科長	27 年	
島田 和明	肝胆膵外科	科長	32 年	
奥坂 拓志	肝胆膵内科	科長	24 年	
藤元 博行	泌尿器・後腹膜腫瘍科	科長	26 年	
池田 俊一	婦人腫瘍科	医長	28 年	
中馬 広一	骨軟部腫瘍科	科長	35 年	
山崎 直也	皮膚腫瘍科	科長	29 年	
飛内 賢正	血液腫瘍科	科長	38 年	

福田 隆浩	造血幹細胞移植科	科長	25 年
小川 千登世	小児腫瘍科	医長	24 年
佐藤 哲文	麻酔・集中治療科	科長	25 年
里見 絵理子	緩和医療科	科長	20 年
清水 研	精神腫瘍科	科長	16 年
荒井 保明	放射線診断科	科長	35 年
伊丹 純	放射線治療科	科長	33 年
平岡 伸介	病理科	副科長	23 年
山本 昇	先端医療科	科長	23 年
福田 治彦	多施設臨床試験支援センター	センター長	27 年
上野 尚雄	歯科	医長	17 年

- (注) 1 医療法施行規則第六条の四第一項又は第四項の規定により、標榜を行うこととされている診療科については、必ず記載すること。
- (注) 2 内科について、サブスペシャリティ領域ごとに研修統括者を配置している場合には、すべてのサブスペシャリティ領域について研修統括者を記載すること。
- (注) 3 外科について、サブスペシャリティ領域ごとに研修統括者を配置している場合には、すべてのサブスペシャリティ領域について研修統括者を記載すること。

(様式第 4)

高度の医療に関する研修を行わせる能力を有することを証する書類

4 医師、歯科医師以外の医療従事者等に対する研修

① 医師、歯科医師以外の医療従事者に対する研修の実施状況（任意）

研修の主な内容

◆ 薬剤師

・ 薬剤師レジデント研修

がん薬物療法に関連する病院薬剤業務の基本的技術を修得するとともに、臨床および基礎の幅広い知識と技術の修得を図り、がん医療に精通した薬剤師を養成することを目的としている。

研修期間は3年で、指導薬剤師のもとに薬剤業務や病棟業務に従事する。

・ がん専門薬剤師研修

国立がん研究センター薬剤師レジデント研修を修了した者、またはこれに相当する

学識を有し、3年以上の臨床経験を有する者を対象とし、がん患者の薬学的管理介入や臨床薬学研究に必要な高度先進的な知識と技術を有するがん診療の専門薬剤師を育成することを目的としている。

研修年限は2年で、指導薬剤師のもとで高度な知識・技術の習得・開発に努め、患者の臨床薬剤業務に従事する。

◆ 看護師

別紙のとおり

研修の期間・実施回数

◆ 薬剤師

・ 薬剤師レジデント研修・・・3年間

・ がん専門薬剤師研修・・・2年間

◆ 看護師

別紙のとおり

研修の参加人数

◆ 薬剤師

- ・ 薬剤師レジデント研修・・・在籍者16名（平成26年3月31日現在）
- ・ がん専門修練薬剤師については、平成26年度より運用開始。

◆ 看護師

別紙のとおり

② 業務の管理に関する研修の実施状況（任意）

- ・ 研修の主な内容
- ・ 研修の期間・実施回数
- ・ 研修の参加人数

③ 他の医療機関に所属する医療関係職種に対する研修の実施状況

・研修の主な内容

任意研修制度・受託実習制度と言う研修制度があり、他の医療機関に所属する医療関係者の受け入れを行っている。

対象者は医師、看護師、薬剤師、臨床検査技師、診療放射線技師、栄養士等であり、医学生や看護学生等の受け入れも行っている。

・研修の期間・実施回数

研修期間・・・1日から1年間と幅広く設定し、1年以上の延長も可能である。

・研修の参加人数

平成25年度で新たに受け入れた医療従事者は約80名である。その他、学生等の受け入れを約280名行った。

(注) 1 高度の医療に関する研修について記載すること。

(注) 2 「③他の医療機関に所属する医療関係職種に対する研修の実施状況」については、医療法施行規則第六条の四第四項の規定に基づき、がん、循環器疾患等の疾患に関し、高度かつ専門的な医療を提供する特定機能病院についてのみ記載すること。また、日本全国の医療機関に勤務する医療従事者を対象として実施した専門的な研修を記載すること。なお、平成二十六年中業務報告においては、平成二十六年四月以降の実績（計画）を報告しても差し支えないこと（その場合には、その旨を明らかにすること）。

(様式第 5)

診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の管理方法に関する書類

計画・現状の別	1. 計画	2. 現状
管理責任者氏名	病院長 荒井 保明	
管理担当者氏名	医療安全管理室長：片井 均 看護部長：那須 和子 薬剤部長：林 憲一 統括事務部長：小須田幸夫、医事室長：出田 剛一	

		保管場所	管理方法
診療に関する諸記録 病院日誌、各科診療日誌、処方せん、手術記録、看護記録、検査所見記録、エックス線写真、紹介状、退院した患者に係る入院期間中の診療経過の要約 及び入院診療計画書		総務部 医事室 看護部 放射線科	診療に関する患者記録は全て(入院外来問わず)一患者一ファイル方式で管理。 (1) 診療録等は永久保存 (2) 内視鏡フィルム、10年保存 (3) フィルム(内視鏡フィルム除)5年保存 (4) 病理、細胞診プレパレート、20年保存
病院の管理及び運営に関する諸記録	従業者数を明らかにする帳簿	人事部	保管を管轄する各部門が、部門システムあるいは台帳等により管理
	高度の医療の提供の実績	医事室	
	高度の医療技術の開発及び評価の実績	研究企画課	
	高度の医療の研修の実績	総務部教育研修係	
	閲覧実績	総務部、医事室	
	紹介患者に対する医療提供の実績	医事室	
	入院患者数、外来患者及び調剤の数を明らかにする帳簿	薬剤部	
第規一則号第一に掲げる十一の体制第一項保各の号状及び第九条の二十三第一項	医療に係る安全管理のための指針の整備状況	医療安全管理室	<ul style="list-style-type: none"> 保管を管轄する各部門が、部門システムあるいは議事録や台帳保管等により管理。規程順守による体制維持に努めている。 平成24年7月より感染制御室が設置され、医療安全・院内感染の管理を共に強化している。
	医療に係る安全管理のための委員会の開催状況	医療安全管理室	
	医療に係る安全管理のための職員研修の実施状況	医療安全管理室	
	医療機関内における事故報告等の医療に係る安全の確保を目的とした改善のための方策の状況	医療安全管理室	
	専任の医療に係る安全管理を行う者の配置状況	医療安全管理室	
	専任の院内感染対策を行う者の配置状況	感染制御室	
	医療に係る安全管理を行う部門の設置状況	医療安全管理室	
	当該病院内に患者からの安全管理に係る相談に適切に応じる体制の確保状況	医療安全管理室	

		保管場所	分類方法		
病院の管理及び運営に関する諸記録	規則第一条の十一第一項各号及び第九条の二十三第一項第一号に掲げる体制の確保の状況	院内感染のための指針の策定状況	医療安全管理室	<ul style="list-style-type: none"> 保管を管轄する各部門が、部門システムあるいは議事録や台帳保管等により管理。規程順守による体制維持に努めている。 	
		院内感染対策のための委員会の開催状況	医療安全管理室		
		従業者に対する院内感染対策のための研修の実施状況	医療安全管理室		
		感染症の発生状況の報告その他の院内感染対策の推進を目的とした改善のための方策の実施状況	医療安全管理室		
		医薬品の使用に係る安全な管理のための責任者の配置状況	薬剤部		
		従業者に対する医薬品の安全使用のための研修の実施状況	薬剤部		
		医薬品の安全使用のための業務に関する手順書の作成及び当該手順書に基づく業務の実施状況	薬剤部		
		医薬品の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医薬品の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	薬剤部		
		医療機器の安全使用のための責任者の配置状況	医療安全管理室 および各部門		<ul style="list-style-type: none"> 医療機器安全管理責任者（中馬副院長）統括のもと、各部門ごとに対応。 臨床検査部門 放射線部門 臨床工学部門
		従業者に対する医療機器の安全使用のための研修の実施状況	各部門		
		医療機器の保守点検に関する計画の策定及び保守点検の実施状況	各部門		
医療機器の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医療機器の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	各部門				

(注)「診療に関する諸記録」欄には、個々の記録について記入する必要はなく、全体としての管理方法の概略を記入すること。また、診療録を病院外に持ち出す際に係る取扱いについても記載すること。

(様式第6)

規則第1条の11第1項各号及び第9条の23第1項第1号に掲げる体制の確保の状況

① 医療に係る安全管理のための指針の整備状況	有・無
<ul style="list-style-type: none">指針の主な内容1) インフォームド・コンセントについて2) 意識改革及び啓発を図るための教育・研修及び講演会について3) インシデント・アクシデント報告と再発防止策の実施について4) アクシデント発生時の対応について5) 患者等からの医療に係る苦情・相談の対応について6) 前述の1)から5)を遂行するための組織及び体制について7) 本指針の患者・家族へ提示等での周知について	
② 医療に係る安全管理のための委員会の開催状況	年12回
<ul style="list-style-type: none">活動の主な内容：医療安全管理室へ報告されるインシデント・アクシデント事例について、医療安全管理部会で原因分析や再発防止対策、業務改善事項の検討をしている。部会での検討事項を毎月開催している医療事故等防止対策委員会に報告後、決定事項を医療安全担当副院長から各部署のリスクマネージャーにリスクマネージャー・サブリスクマネージャー会議にて伝達し、所属職員に伝達・周知徹底を図っている。	
③ 医療に係る安全管理のための職員研修の実施状況	年2回
<ul style="list-style-type: none">研修の主な内容： ＜全職員研修：医療安全講演会＞ 第1回「あなたが当事者なら医療裁判？」(H25.7.16)、第2回「危機管理広報について」(H24.12.21) 延べ参加人数 2298名 年2回受講率 99.8% (DVD上映・閲覧含む) ＜その他 勉強会＞ 「MRI磁場体験研修」「一次救命処置研修」等、各部門と協力し、個別に勉強会を計7回実施	
④ 医療機関内における事故報告等の医療に係る安全の確保を目的とした改善のための方策の状況	
<ul style="list-style-type: none">医療機関内における事故報告等の整備 (有・無) 医療安全管理体制の確立・医療安全管理のための具体的方策及び医療事故発生時の対応方法等について、医療事故等防止安全管理規程を定め、医療事故等防止対策委員会、医療安全管理部会を設置。また、各診療科・各看護単位・各部門にリスクマネージャーを設置し、インシデント・アクシデント事例の報告内容の把握・検討等を行い、再発防止に努めている。その他の改善のための方策の主な内容：<ul style="list-style-type: none">リスクマネージャー・サブリスクマネージャー会議での説明・指示・伝達医療安全ニュースの発行職員全員参加の研修会の実施医療安全ポケットマニュアルの年1回の更新事例集の発行	
⑤ 専任の医療に係る安全管理を行う者の配置状況	有(2名)・無
⑥ 専任の院内感染対策を行う者の配置状況	有(4名)・無
⑦ 医療に係る安全管理を行う部門の設置状況	有・無
<ul style="list-style-type: none">所属職員：専任(2)名、兼任(80)名 各部署のリスクマネージャー活動の主な内容：医療安全管理に関する情報収集・情報提供、インシデント・アクシデントに ついての実態把握・分析・再発防止対策の立案・周知、医療安全に関する職員教育を実施。	
⑧ 当該病院内に患者からの安全管理に係る相談に適切に応じる体制の確保状況	有・無

(様式第 6)

院内感染対策のための体制の確保に係る措置

① 院内感染対策のための指針の策定状況	有 無
<p>・指針の主な内容： 感染対策の基本的考え方、院内感染対策体制の整備(院内感染対策委員会、感染制御室、感染対策チーム、感染制御室長、院内感染管理者、感染制御室専任医師の設置について)、職員に対する研修に関する基本方針、感染症の発生状況の報告に関する基本方針、院内感染発生時の対応に関する基本方針、患者等への情報提供と説明に関する基本方針、その他、院内感染対策推進のために必要な基本方針について策定している。</p>	
② 院内感染対策のための委員会の開催状況	年 12 回
<p>・活動の主な内容： 院内感染発生動向の監視と効率的な院内感染対策が実施できるように、感染制御室および感染対策チームの活動支援を行う。感染制御室、感染対策チームで検討した課題や提案された事項について審議、決定を行う。</p>	
③ 従業者に対する院内感染対策のための研修の実施状況	年 2 回
<p>・研修の主な内容： <全職員研修：院内感染対策講演会> ①『感染管理の基本』(H25.7.12) ②『感染症診療の原則』(H25.11.6) 延べ参加人数 2,300名 年2回受講率100% 講演会・DVD上映会の他に、未受講者にはDVD貸出を行った。 その他、セレウス菌アウトブレイク後の対策として「血流感染対策勉強会」を開催し、医師・看護師全員に手技の注意点等を周知した。</p>	
④ 感染症の発生状況の報告その他の院内感染対策の推進を目的とした改善のための方策の状況	
<p>・病院における発生状況の報告等の整備 (有 無) 院内感染発生時は、微生物検査室よりすみやかに関連部署に報告が行くように、連絡網による体制を整えている。 アウトブレイク発生時には病院長徴集による臨時院内感染対策委員会を開催して、アウトブレイクを止めて、再発を予防するための方策を検討し、勧告する。臨時のリスクマネージャー・サブリスクマネージャー会議を開催し、各部署の責任者に勧告を通知する。紙面による勧告内容の周知と徹底を行い、各科長、部門責任者の責任における読了チェックによって、全職員に周知できているかどうかを確認している。</p> <p>・その他の改善のための方策の主な内容： 感染症を病院内に拡げないため、他所からの持ち込みや院内での感染拡大防止の観点から全職員に対する流行性ウイルス性疾患についてワクチンポリシーを整えた。流行性ウイルス性疾患抗体検査結果及びワクチン接種状況を整理し、全職員のEIA価把握と基準を満たさない職員のワクチン接種推奨を押し進めている。</p>	

(様式第6)

医薬品に係る安全管理のための体制の確保に係る措置

① 医薬品の使用に係る安全な管理のための責任者の配置状況	有・無
② 従業者に対する医薬品の安全使用のための研修の実施状況	年 6回
・研修の主な内容：医薬品の適正使用、麻薬や抗がん剤等の取り扱い、バイオシミラーについてなど	
③ 医薬品の安全使用のための業務に関する手順書の作成及び当該手順書に基づく業務の実施状況	
・ 手順書の作成 (有・無) ・ 業務の主な内容：常備薬(規制医薬品等)の保管・管理状況調査及び各部署による自己評価	
④ 医薬品の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医薬品の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	
・ 医薬品に係る情報の収集の整備 (有・無) ・ その他の改善のための方策の主な内容： ・ 職業曝露防止や適正な無菌混合調製を目的とした、休日体制下での抗がん剤無菌調製業務の実施 ・ 病棟薬剤師による各病棟への医薬品安全使用に関する情報周知の徹底化 ・ 安全性速報(ブルーレター)の院内周知の徹底化 ・ 薬剤部HP・コンテンツの改善 ・ 投与時に注意が必要な薬剤に対する注意喚起を目的とした薬袋のコメント表記の工夫 ・ 規格が複数ある薬剤における規格の取り違え防止を目的とした表示名称の工夫 ・ 同種同効薬の採用に際し、安全使用を目的として、力価・包装等の院内資料の作成と配布 ・ 調剤(分包紙等)の文字サイズとレイアウトを医療安全の観点から変更 ・ ハイリスク薬に対する注意喚起を目的として処方箋表記と、院内配置薬の表示を変更 ・ 後発医薬品への切り替えにあたり、安全使用を目的として、医薬品の表示名に先発品名を付記して表示を工夫	

(様式第6)

医療機器に係る安全管理のための体制の確保に係る措置

① 医療機器の安全使用のための責任者の配置状況	有・無
② 従業者に対する医療機器の安全使用のための研修の実施状況	年4~5回
<p>・ 研修の主な内容：</p> <p>ME部門：血液浄化装置、輸液ポンプ、シリンジポンプ、人工呼吸器、経皮的人工心肺補助、除細動器についての使用方法、注意点、管理方法について</p> <p>放射線部門：新規導入医療機器設置後、定期点検後、バージョンアップ後について、使用方法、注意点、管理方法について</p> <p>検査部門：新規導入医療機器設置後、定期点検後、部品交換後、使用方法、注意事項、法令上遵守すべき事項について</p>	
③ 医療機器の保守点検に関する計画の策定及び保守点検の実施状況	
<p>・ 計画の策定 (<input checked="" type="radio"/> 有・無)</p> <p>・ 保守点検の主な内容：</p> <p>ME部門：医療機器配置場所の職員と臨床工学技士と双方で日常点検を実施。また、機器によって臨床工学技士による定期点検、メーカーによる定期点検を実施。</p> <p>放射線部門：職員による日常点検実施と、メーカーによる定期点検の計画・実施・報告</p> <p>検査部門：部署担当者による日常点検と、ISO15189規格に準じたメーカーによる定期点検の計画・実施・報告・作業報告書保管。</p>	
④ 医療機器の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医療機器の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	
<p>・ 医療機器に係る情報の収集の整備 (<input checked="" type="radio"/> 有・無)</p> <p>・ その他の改善のための方策の主な内容：</p> <p>各種医療機器の稼働率調査 日常点検の実施</p> <p>臨床工学技士による定期点検の実施・点検状況の把握 メーカーによる定期点検の実施・職員による点検状況の把握 医療安全管理室ニュース（医療安全、感染と連携）の定期発行 修理・故障報告件数・内容のデータ管理 使用マニュアルの改訂 勉強会の実施 PMDAへの報告</p>	

(様式第 6)

病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法に関する書類

○病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法

計画・現状の別	1. 計画	②. 現状
閲覧責任者氏名	総務課長・医事室長	
閲覧担当者氏名	文書管理係長・医事係長	
閲覧の求めに応じる場所	総務部総務課・財務経理部財務経理課医事室	
閲覧の手続の概要		
『独立行政法人等の保有する情報の公開に関する法律(平成13年12月5日法律第140号)』及び『独立行政法人等の保有する情報の公開に関する法律施行令(平成14年6月5日政令第199号)』に基づき以下の当センター規定に則り閲覧を含む開示手続きを行う。		
・独立行政法人国立がん研究センター情報公開手続規程(平成22年4月1日規程第49号)		
・独立行政法人国立がん研究センター情報公開手数料規程(平成22年4月1日規程第48号)		
・独立行政法人国立がん研究センター情報公開審査基準(平成22年4月1日規程第50号)		
具体的には、総務部総務課を情報公開窓口として、以下の手続きを行う。		
①開示請求者より、法人文書開示請求書(規定様式)の提出と手数料の支払いが行われる。		
②①に不備がある場合は、補正依頼公文(規定様式)を送付する。		
③請求文書の特定と開示可否の審議を行い、審議結果に応じて、法人文書開示決定通知書又は法人文書不開示決定通知書を開示請求者に送付する。		
④請求の内容により、期限の延長又は事案の移送が必要な場合は、それぞれ規定に基づき通知公文を開示請求者に送付する。		
⑤③を受け、開示請求者が開示実施を希望する場合は、規定の実施方法等申出書を提出する。		
⑥⑤の実施方法等申出書及び開示実施に係る規定手数料を受け、文書の開示を実施する。		

(注)既に医療法施行規則第9条の20第5号の規定に合致する方法により記録を閲覧させている病院は現状について、その他の病院は計画について記載することとし、「計画・現状の別」欄の該当する番号に○印を付けること。

○病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧の実績

前年度の総閲覧件数	延	0件
閲覧者別	医師	延 0件
	歯科医師	延 0件
	国	延 0件
	地方公共団体	延 0件

(注)特定機能病院の名称の承認申請の場合には、必ずしも記入する必要はないこと。

(様式第7)

専門性の高い対応を行う上での取組みに関する書類（任意）

1 病院の機能に関する第三者による評価

① 病院の機能に関する第三者による評価の有無	①・無
・評価を行った機関名、評価を受けた時期 公益財団法人日本医療機能評価機構 平成26年3月	

(注) 医療機能に関する第三者による評価については、日本医療機能評価機構等による評価があること。

2 果たしている役割に関する情報発信

① 果たしている役割に関する情報発信の有無	①・無
・情報発信の方法、内容等の概要 ・ホームページを通して、病院の治療成績、先進医療の提供状況、治験の実施状況などに加え、研究成果や新たな取り組みの発表などを行い、情報公開を推進した。 ・がんに関する最新の知見や研究成果、科学的根拠に基づく診断・治療法について広く国民に情報提供を行うために、プレスリリース・記者会見を開催した。また、メディア関係者との意見交換会、がん対策情報センター「メディア・セミナー」などを通じ、センターの活動について積極的な情報提供に努めた。 ・がん患者の暮らしのアイデア展、がん医療フォーラム「がんと共生できる社会づくり」、子供向け手術体験セミナーなどの一般向けイベントを開催し、当センターの取り組みを紹介するとともに、ホームページでも記録動画を配信した。 ・年報、Annual Reportなど、当センターの業績集を作成し、大学、研究機関、拠点病院をはじめ関係各所に提供、幅広く当センターの診療や研究活動の紹介を行った。 ・当センターをより身近に感じてもらうと共に、がん患者、がん患者家族をはじめ一般の方に役立つ情報を提供し、また、がん患者さんのQOLの向上につながる情報を発信する広報誌「hibiho（日々歩）」を定期的に発行した。	

3 複数の診療科が連携して対応に当たる体制

① 複数の診療科が連携して対応に当たる体制の有無	○・無
<p>・複数の診療科が連携して対応に当たる体制の概要</p> <ol style="list-style-type: none">1. 主たる悪性腫瘍に対して開設されている内科・外科間の連携 ※ 組織図別添2. 特化した治療（放射線治療、放射線診断、内視鏡センター、通院治療センター等）と各診療科との連携3. 複数の悪性腫瘍や、患者の状態によって診療科間における協力が必要な場合の連携4. その他	